



笑顔

あざむき

幕別町



MAKUBETSU

## おいしいかい？ 全部駒島産の食材を 使ったおそばだよ。

駒島そば研究会代表  
幕別町グリーン・ツーリズム研究会  
長崎 勉さん



### 農家をしながら別の仕事も する「グリーン・ツーリズム」 を提唱。

「そば工房百姓(笑)庵」の名前の由来について、長崎さんはこう語ってくれました。

「自分たちも笑って農業をしたり、そばにこだわる仕事もしたり、お客さんにも笑ってほしいなって思っています」。

長崎さんの本業は農業。そばの栽培を始めたとき、子供のころに家で親が打ってくれたそばの味を懐かしく思い、趣味でそば作りを開始。そのころ北海道農業一元気づくり事業の話があり、駒島そば研究会として事業を申請し、平

成12年に百姓(笑)庵をオープン。幕別町駒島地区で初めての飲食店となりました。百姓(笑)庵には、おそば屋さんで人気の「えび」を使用したメニューがありません。その理由は、えびは駒島ではとれないから。そこには全て駒島産の食材を使用したいというこだわりがあります。そんな長崎さんが作るおそばは、そば本来の香りを最大限に生かした素朴な味わい。自家栽培している野わさびをおそばと合わせると、不思議と全体がまるやかに。ピリツとした辛味がアクセントになり、とっても美味。



農業の忙しい夏場は日曜だけの営業。「本業は農家だから、その仕事をおろそかにはしたくない」とのこと。

### 千葉県から北海道へ。 酪農家として独立して1年。

「やってみてダメならやめれば良い。まずはやってみないと」。

そう語る星野さんが酪農を始めたと思ったのは25歳のとき。千葉県の松戸出身。興味はあったものの、まわり酪農をしていた人もいなかったという。勤めていた会社が倒産し、退職を余儀なく

## 今は支えて もらっていますが、 早く同じ土俵に 立ちたいですね。

星野牧場  
星野 輝晃さん



牛が自由に食べたり寝たりできるフリーストールを採用しています。

され、どうしようかと思っていたときに「やってみようか」と思い立ちました。結婚したばかりの奥さんからは猛反対されたのですが、星野さんの熱意に負け共に北海道へ。別海で3年半、忠類で2年ほど酪農研修を行い、1年前について独立。「はじめは良いところしか見ていなかったですが、辛いことなんかもありましたね」。研修や行事に積極的に参加し学び続ける星野さん。「とりあえずは周りの農家さんと同じ土俵に立ちたいですね。今はまだまだ支えてもらっている立場なので」と、しっかりとした眼差しで抱負を語ってくれました。「本当は花とかを植えたりもしたいんですけどねえ。なかなか余裕がなくて」。星野さんの挑戦はまだ始まったばかりです。

## 来ることに 迷いはなかったですね。 住んでみるまでは 分かりませんから。

大坂林業(忠類錦町)  
ロバート・マクマニスさん



### カナダのバンクーバーから 移住してきました。

妻の真紀さんとの結婚を機に、生まれ育ったカナダから忠類に移住して5年。真紀さんの父が経営する大坂林業で働いています。カナダといえば林業というイメージがありますが、マクマニスさんはカナダでは建設業に携わっており、林業の経験はゼロ。日本とカナダとの考え方の違いに戸惑うことはありますが、温泉があつて美しく平和な忠類がとても大好きだそう。そんなマクマニスさんの趣味はバイクでのモトクロス。友人に勧められて始めたのがきっかけで、



昨年はついに大会への出場も果たしました。カナダではホッケーをしていたマクマニスさんですが、今はモトクロスが楽しくて仕方ない様子。笑顔いっぱい毎日を楽しんでいます。

1男1女に恵まれ、楽しく幸せな毎日。

## 「甘くて美味しい」 お菓子を 作って いきたいねえ。

杉野菓子店(本町)  
杉野 洋子さん



### お菓子は 簡単なようで難しい。 常に神経を使います。

昭和3年の創業以来、白鳥が飛来した様子をヒントに作った「幕別ロマン」、幕別で種牡馬(しゅばば)として余生を過ごした鞍馬(ばんば)をモチーフにした「キントロモチ」など、幕別にゆかり

## 知られていない おいしいものって たくさん あるんだ。

NPO幕別風土学研究会理事長  
藤原 孟さん



「ねこの座布団」。クレープの皮1枚1枚まで手作り。おいしさを追求すると、やはり機械を使うことはできないそうです。

のあるお菓子を作り続けています。「最近の若い人は甘くないお菓子を食べたがるけど、それって本来のお菓子じゃないよね。甘くて美味しいものを作りたいよ」と話す杉野さん。その時代に合わせ多少の改良をしていますが、基本的に昔ながらの味を守っています。職人である父親から受け継いだものを大切にしたい。そんな思いから、今日もおいしさを追求し、お客様に愛される商品作りに精を出します。

### 風土=Food 田舎の土で育てられた 自然・歴史・文化。

失われた農産物はたくさんあるし、昔と今では同じ食べ物でも変わってきているのではないかと。そう考えた藤原さんが、観光客に対して幕別の気候風土と特産品および食文化を紹介し、食を通じて若い世代を育成する「食育」に関する事業を立ち上げたのがNPO

幕別風土学研究会です。現在はそばの打ち手の育成・技術向上、減農薬食材の栽培に力を入れています。年に1度開催している「幕別そば祭り」は好評です。「いろんな会社の肩書きなどに関係なく、メンバーがみんな横並びでやっていきたい」。地域の特性を生かした藤原さんの食文化の探求は、まだまだ続きます。



会員のみなさんの名前がずらり。



より現場に近い環境を感じてもらうために体験重視の  
カリキュラム作りをするなど、いたるところに工夫が。

道がない。だからこそ、  
やりがいがある。

社会のニーズに合わせて、十勝管内で  
初めて福祉コースを取り入れた江陵高  
校。川村さんは大学卒業後に江陵高校



## 優しいところをもって 福祉に携わって 欲しい。

江陵高等学校(依田)  
福祉教諭主任  
川村由理子さん



外観からは想像がつかない内観には  
音楽の雰囲気が溢れています。

心の底から音楽を好きな  
人たちが、この工場には  
集まってくる。

日中はクレーンなどの重機を扱ってい  
る阿蘇さん。実は「工場長」と呼ばれて  
います。工場にいるわけではないのに、な  
ぜそう呼ばれているのでしょうか？そ  
れは、所属するバンド「Peace工場」の



## 音楽が好きだから、 音楽を 楽しみたいんです。

Peace工場  
工場長  
阿蘇 憲一さん

かわいらしい和雑貨がお出迎えして  
くれる、どこか懐かしい店内。久代さん  
の旦那さんが3代目を務めるあらかわ  
菓子店です。「商品開発は家族で相談  
して決めるの。食べることが好きだか  
ら、ネーミングもこだわっちゃうのよね」  
という荒川さん。「げんきなこ(黒大豆  
に黒すりゴマ)ノアをブレンド」は、体

機械では作れない、  
技術者の味を届けたい。



## 食べることが 好きだから、 商品開発も できるのね。

あらかわ菓子店(本町)  
荒川 久代さん

に就職し、福祉コース立ち上げ当初か  
ら携わっています。「何から何まで新し  
いことだらけ。道がない分苦労するこ  
とが多いけれど、それ以上にやりがい  
があるんです。生徒には優しいところを忘れ  
ずに福祉にかかわって欲しい。今は福  
祉コースから第一期の卒業生を出すこ  
とが楽しみなんです」と、目を輝かせて  
話してくれました。

四季の移り変わり  
日照時間に驚愕。

「十勝へ来たとき、まず最初に感じた  
のは四季がはっきりしていること、それ  
と日照時間が長いことにも驚きました  
ね」と開口いちばんに岡本さん。炭鉱の  
町として栄えた空知の声別で生まれ育



## おおらかで たくましい 子を育む 環境が あるのでは。

十勝竜谷学園幕別幼稚園(札内豊町)  
園長  
岡本 保さん

リーダーだから。現在、阿蘇さんの音楽  
活動の拠点となっているのが「Over  
Drive」という丘の麓にあるライブハウ  
ス。元々民家だったものを音楽仲間の  
みんなが手づくりで改装したもの。「毎  
月最終の土曜日には、ここで定期的に  
ライブを行っています。お客さんの年齢  
層は30〜40代が中心で、落ち着いて飲  
みながら音楽を楽しむ空間がここにあ  
るんです」と阿蘇さん。



## 注文は 難しいほうが 楽しくいいね。

うらがみミート  
レストランケルン代表(忠類白銀町)  
浦上 孝さん



まだパークゴルフが知れ渡っ  
ていないころ、パークゴルフ関  
連のお菓子も開発。

に良いということと商品名がつけヒット  
商品に。常連さんのリクエストにより注  
文販売だったカステラや中華まんじゅ  
うを通常販売す  
るなど、常にお客  
様のニーズに応  
えてきました。  
それは昭和の初  
めころからこの  
地に根ざし、地  
域のお客様を大  
切にしてきた証  
なのでしょう。

マイペースに楽しく営業を  
続ける「うらがみミート」。

「ゆり根ハムなど数多くの肉類やハ  
ム、ソーセージを生産、販売している浦  
上さん。公務員だった浦上さんが起業  
したのは30歳の時。思った以上に大変  
だったね。分かっていたらやらないよ、こ  
んなこと。だけど、オレしつくるのが好き  
だからさ」。苦しいことも楽しんでやり  
続けて28年、草刈りも除雪も大好きと  
いう浦上さんは「何でも好きなのよ。何  
でも趣味にしちゃう」と笑顔で言いま  
す。うらがみミートではお客様の要望に  
応じたオリジナルも製造してくれるそ  
うです。「むちゃな注文を受けるときも  
あるよ。けどそれに応えるために色々や  
るのが好きなんだ」と、こどもでも何  
でも楽しんでうらがみ浦上さんです。



レストランのテーブル、イスも浦上さんの手づくり。



## 今の仕事が、 ものすごく 楽しくて!

NEEDS  
ふうど工房(新和)  
店長  
三浦 さなえさん

ち、赴任してからすでに40年近く十勝  
に住んでいるそうです。「十勝の新鮮な  
空気や日照時間の長い自然環境、美し  
い四季の変化は少なからず子どもたち  
をおおらかに、たくましく育ててく  
れる土壌がここにはあるのでしょう」。  
また、「近年は耐性欠如の子どもの増  
えています。3〜4歳の間にしっかりと  
と心を育ててあげることが大切さを伝  
えていきたい」とも話してくれました。



「子どもたちは汚れがなく、みんな真っ白な状態。  
このままスクスクと育ってほしい」と岡本さん。



「大地のほっぺ」は優しいほっぺたのような食感が楽  
しめるチーズ。ネーミング、パッケージもおもしろい。

純幕別産。  
熱いエネルギーを胸に秘め。

「仕事が好き! とにかく、仕事を  
通じて自分がどんな成長していくの  
がわかるんです」。生まれも育ちも幕  
別の三浦さんは生粋の幕別人。求人情  
報誌で新田牧場(のちに三浦牧場)を知  
り、パートとして入った三浦さんですが、  
その持ち前のバイタリティーを活かしメ  
キメキと頭角を現し、1年後には  
は店長になっていくそうです。「おいし  
さはもちろん、見た目やパッケージデザ  
イン、接客対応も商品をお客様に買っ  
ていただくうえで重要なポイント。20  
代のスタッフが多い中で試行錯誤の毎  
日です」と仕事について語ってくれま  
した。「今は本当に仕事が楽しくて、い  
つも友人たちと話をしていると、将来に  
ついて語ってしまう」と、内に秘めた希  
望をチャリとのぞかせてくれました。

豆腐を  
作りはじめて49年。

にっこりと笑顔で出迎えてくれた新井さん、豆腐や油揚げを用意して待っていてくれました。何だかほっとさせられるその味は感動もの。豆の風味が生きた素朴な味で、市販のものとは一線を画します。北海道中にファンを持つ新井豆腐店。遠方から送って欲しいという人も多いのだとか。新井さんは嫁いでから49年もの間ほとんど休まずに朝4時



できたての寄せ豆腐  
用意しといたよ。  
揚げたての  
油揚げも食べていきな。

新井豆腐店(忠類幸町)  
店主  
新井 あい子さん

に起き、豆腐を作り続けています。「もう50年だからね、年も年だし体も動かなくなつて」と言いますが、まだまだ衰える気配は見えません。  
そんな新井さんの健康の秘訣は温泉。月2〜3回は通います。「また、できたての豆腐用意しとくから」と帰り際に言ってくれた新井さん。温かさとやさしさに包まれたひとときでした。



仲間同士の交流の場を  
大切に地域を盛り上げたい。



若い人が頑張らないと  
地域は  
良くなりませんから。

多田牧場(忠類新生)  
多田 篤さん

父がはじめた多田牧場。小学校のころから後を継ぐのだろうと漠然と思っており、その気持ちが揺らいだことはほとんど無かったとのこと。3〜4年ほど前から就農希望者を受け入れ、担い手の育成にも力を入れています。「仲間が増えるのがうれいですね。これからは地域活性化に役立てるような牧場作りをしたいですね。1カ月後には従業員の一人在り立ちをします。」  
また、JA忠類青年部長をつとめ、牛乳の消費拡大や食育関係のイベントにも積極的に参加しています。「頑張っている」という仲間同士の交流の場を大切に地域を盛り上げたいですね。多田さんの瞳はしっかりと未来を見据えています。



800頭近くの牛がいる大規模な牧場です。

パークゴルフがきっかけで、  
何ごとにも  
積極的になりました。

幕別中学校3年  
蝦名 賢太郎さん



小学6年で  
国際大会優勝。

小学校4年の時に祖父につれていってもらったのがパークゴルフをはじめのきっかけでした。いつもは家族でプレイすることが多いのですが、たまに友だちと集まってやることもあります。最初は「どうやったらいいのかわからなかった」という賢太郎さん。普及員の方やベテランプレーヤーに技術的なアドバイスをいただきながら、めきめきと実力をつけ



今年も優勝を味わう愛用のクラブ。

練習に余念がない賢太郎さん。

ていきました。  
小学校6年生の時に国際大会に初めて出場し、優勝という快挙をあげパークゴルフのとりこに。昨年は北海道オープン準優勝、国際大会優勝とさらに実力をつけています。小学生の時は消極的な性格で、人と話すことが苦手だったらしく、パークゴルフをはじめたこと、なに「これにも積極的になることができた」といいます。クラスでは生活委員長として友人からの信頼も厚く、同級生からは悩み相談もされたりするそうです。趣味はパソコンと音楽を聞くこと。パソコンを使い、クラスの時間割もつくっています。とても評判がいいそうです。  
今は、8月の北海道オープンへ向け、調整中という。一采年受験なので勉強にも力を入れなければならぬと「さう」と笑う賢太郎さんです。

まさにパークゴルフと  
ともに歩んできました。

地域の住民を公園へ引っぱり出そうというところで、国際パークゴルフ協会の前理事長が23年前、町の教育委員会にいた時にランドゴルフの用具を使っている。試行錯誤の中、考案されたと聞いています。フルシヨットをするクラブが壊れてしまうことが多く、よく修理を依頼されたとのこと。弊社はゴルフクラブの製造もしておりますので、ウハウウがあり、パークゴルフクラブの製造をはじめました。それからはまさにパークゴルフと共に歩んできたようなもので



パークゴルフを  
次世代に広げていきたい。

株式会社ニッタクス(新町)  
取締役工場長  
パークゴルフ振興会  
会長  
新田 潔さん

20周年を記念して限定300個のみ製造された発祥当時のプレミアムボール



海外にもたくさんさんのコースをつくられてきていますが、国内のパークゴルフ人口も西日本を中心に、まだまだ増える可能性があり、三世代スポーツ、パークゴルフの魅力は次世代に伝えていきたいと話していました。



「とにかく野菜がうまい。肉好きの僕がこんなに野菜を好きになるなんて……」。もともと「かに族」(バックパッカーの前身)の北海道ファンの一員として20年前から北海道各地を旅していた菅原さんが東京での生活に終止符を打ち、北海道への移住を実行したのは平成14年。初めは札幌、その後弟子屈の飲食店で働き、翌平成15年「日高山脈の見える所で暮らすのが夢でした」と語る菅原さんは、幕別本町に空き店舗をみつけ、念願の場所でカフェをオープンし

**「まち」の雰囲気  
損得なしで付き合っている  
驚きました**



**「幕別の人は一とがしい」  
ある北海道ファンの  
たどり着いた先。**

Cafe & grill ZERO POINT  
(カフェ & グリル ゼロポイント)(本町)  
店主  
菅原 昭彦さん

店名の「ZERO POINT」。以前東京・吉祥寺でお店を開いていた時の名前。

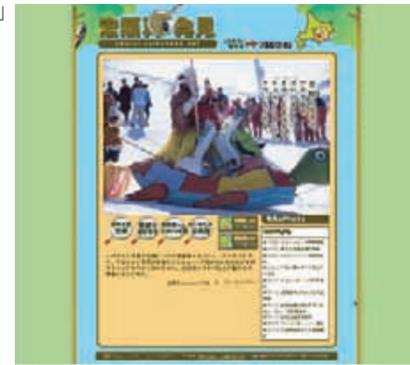


ケーキは奥さんの得意分野。

「なによりも、幕別の人は一とがしい。気軽に声をかけてくれ、色々なことを教えてくれるんです」。また「野菜にはあまり関心なかったが、ここ(幕別)に来てから野菜のおいしさに本当に驚いた。メニューの中でもできる限り地元でとれたおいしい野菜を使うようにしているんです」と笑顔で話してくれました。



加藤さんのホームページ「忠類再発見」  
<http://www.churui-saihakken.net/>



「みんな集まれ虫類(忠類)へ!!」。虫類と忠類をかけた印象的なコピーが際立つ昆虫展。これもデイスカバリーが手がけたもの。このイベントは2千人以上を集客、街の人々も喜んでくれ大成功をおさめました。「ソフト面が認められて、忠類に注目してもらえるのは嬉しいですね」。

そんな加藤さんの趣味はクラシックギター。忙しい合間に、町内外のイベントにも積極的に参加しています。「リフレッシュの感覚でやらないと何でも続かないから。続けることが大事」。肩ひじ張らず、楽しみながら地域のため今日も活動し続けます。



**郷土への思いが詰まった  
ホームページ「忠類再発見」。**

加藤さんが代表を務めるボランティアグループ「デイスカバリー」は郷土に対する思いを、ホームページ「忠類再発見」に託しています。ホームページには忠類の美しい自然、お年寄りの方の貴重な知識や意見などが詰まっており、忠類に対する愛で包まれています。「合併により、築いてきたものが無くなってしまふようなやせるせない気持ち、それは誰もが持っていると思うんです。だけどそれに負けたくはないですね。なんとしても忠類を発展させたい、強い気持ちを感じます」。

**合併によって、忠類が  
より発展して  
欲しいですね。**

加藤建設株式会社(忠類白銀町)  
専務取締役  
加藤 茂樹さん



ポニー7頭、めん羊30頭などが放された牧場の中、羊毛を使った編み物を教えている「忠類工房」は平成9年に

**めん羊の糸を紡ぎ、編む。  
「忠類工房」が広める  
編み物の輪。**



**生まれも育ちも  
ずっと忠類。  
糸紡ぎは  
母が教えて  
くれたんです。**

ミニ牧場いがらし  
忠類工房(忠類幸町)  
五十嵐 豊子さん

開設しました。個人、団体問わず多くの人を教えていて、地域の小学生にも喜ばれています。五十嵐さん主催の「ナウマンニットコンテスト」はすでに5回目を迎え、多くの人が参加しています。また、サークル「五人会」では手づくりの作品を道の駅などで配り、交通安全を訴えているそうです。「忠類の人は一とがしいね、みんなお友達だよ」と70年間ずっと生活してきた忠類を心から愛する五十嵐さん。「たいしたことではないよ、ただ時間があるからね」。照れ気味に微笑む五十嵐さんは今日も元気に活動中です。



身近なものを使った交通安全キャンペーン用の作品はどれも美しい仕上がりに。

糸を紡ぐ姿はさすがに絵になります。



ふるさと館の立ち上げ当初、小助川さんが30代の時に「自らの力を試したい、学びたい」と研究員に志願。以来、事業委員として

**お客さんを  
待っているだけでなく、  
生きた資料館作りを。**

活動。ふるさと資料館を大人から子どもまで活用できる生きた資料館にするため、日々奮闘しています。現在は



**ウメ子さんの  
歌や踊りに触れ、  
アイヌ文化を  
残したいと思ったんだ。**

ふるさと館事業委員会副委員長  
マクンベツアイヌ文化伝承保存会  
小助川 勝義さん



ウメ子さんのDVDとCD。

「筆耕」といって、古文書を読み解き現代の仮名遣いに直す作業を行っています。アイヌ語の翻訳をすることもありますが、

「アイヌ」は小助川さんにとって欠かせないキーワード。平成17年、一度は途絶えたマクンベツアイヌ文化伝承保存会を復活させ、会長に就任。「アイヌ語しか話せないお年寄りもまだまだたくさんいました。ウメ子さんはその人たちが持っている大切な文化を表現することができると本物のアイヌ人です」。これは安東ウメ子さんについて語ったもの。小助川さんは彼女が持っている文化を伝えていきたいと、平成17年に彼女の歌や演奏、十勝の風景を収録したDVDを作成しました。アイヌ文化を定着、発展させたい気持ちもあるそうですが、それ以上に、若いアイヌの人たちに伝統文化を伝えていく意欲を持って欲しいのだとか。

今後はアイヌの方が個人として民芸喫茶をオープンさせる予定もあり、幕別にアイヌの文化を守り伝承していく場所を作り出す、大きな挑戦が始まっています。

十勝を代表するクラシックギター演奏者。東京やスペインなど、各地のクラシックギターの技術や文化を学んだ後、生まれ故郷の十勝へ。「音楽には人間が出るよ。外国で出会う演奏者たちは、それぞれの国の伝統を背負っていて、それが



**演奏指導は技術を教えるだけでなく、人と人との付き合いです。**



**十勝が好きだから、この土地で演奏しているんだよ。**

ギタリスト  
田中 光俊さん

小学生から80歳までの生徒さんが田中さんのスタジオに習いに来ています。

演奏に表われる。だからおもしろい、刺激があるんだよ。全道各地で演奏活動をしている田中さん。コンサートは主に帯広で行うとか。「幕別でも田中さんの演奏が聴きたい」といわれちゃった。これからは幕別でも積極的に演奏活動を展開していきたいね。出身は帯広市。幕別には住んでから20数年たつのですが、本人いわく「まだ新参者のつもり」だそうです。



**ずっと山に関わってきた、森林組合の炭焼き職人。**  
炭焼きはとても大変な作業。窯に入れた木を8日間燃やし、火を消した後さらに8日間蒸します。つまり、炭を作るのには2週間以上もかかるのです。しかも、火をつけた日は泊まり



**泊まり込みで夜中まで火を見続けることもあるんだ。**

幕別町森林組合忠類事業所  
野坂 実夫さん



ここでつくられた炭は管内の飲食店などで使われます。直接買いに来るお客様も。

込みで様子を見なければなりません。「煙を見て中の温度を予測して調節するんだ。中が見えないから感覚だよ」と野坂さん。何よりも経験がないと難しく、体で覚えていくものだろう。途中過程が見えないだけに、窯から炭を出して良いものだったときの喜びは何事にも変えられません。「やっぱり良いものがあったときに一番うれしいよ」と言います。「子どものころから山で遊んでいたので、ずっと林業をやってきて、炭焼きを始めたのは14年前かな」。

生まれてから今までずっと山に関わり続けている野坂さん。「これからも体しだいだけど続けていきたいね」と力強く言ってくれました。

**育児の相談はすきやき隊にお任せ！**



**今の若いお母さんたちって、子育てが大変じゃないかなって。**

子育て支援せわすき・せわやき隊  
隊長  
中井 佳代子さん

「息子のお嫁さんが妊娠しているときに、息子家族が転勤になっちゃって。見知らぬ土地での出産は不安だらうなつて思ったのよ」。子育てに不安を抱えている人は幕別にもいるだろうと、平成16年、北海道が導入した「地域子育て力強化事業」の採択を受け、ボランティア団体「すきやき隊」を発足。子育て経験のある女性を中心に活動しています。お金をいただくのではなく、あくまで無料で何かをお手伝いできたら。そう考える中井さんは、将来的に

オレンジ色のアンパンマンエプロンがユニホーム。せわすき・せわやきなすきやき隊のみなさん。



はお母さんたちが育児の悩みを相談してくれるような、そんな身近な存在になつていきたいとのこと。「期待が高まっているだけに、急がず焦らず、頑張らなきゃね！」。

**百合根をもっと発信していきたい！**



**技術力を上げて、ランクが高いものを作りたいですね。**

忠類百合根耕作組合  
組合長  
野坂 幸市さん

百合根は冷害に強く忠類には適した作物。昭和38年から生産を始めており、現在35戸ほどの農家が生産しています。忠類の百合根は他地域に比べて



も質が高い。研修会や講習会を重ね、技術の向上、厳しい管理に努めた結果です。またレシピ集を作り、百合根といっしょに発送するなど消費拡大にも努めています。

百合根は収穫までに時間がかかり、キズをつけるとすぐに傷むため機械を使えません。だからこそ「良いものができて、単価が高くなつてくれるとうれしい」と野坂さんは言います。まだ組合長になつて半年。札幌での会議が入ることでも多く多忙な毎日です。「百合根は何にでも合う食材。忠類の百合根を消費者にもっと食べてもらいたいですね。何にでも合う食材ですから」。

台湾への輸出の計画も進行中。テレビにも紹介され注目度も増している今日。野坂さんの活躍に期待です！

笑顔  
#からり



幕別町長  
岡田 和夫

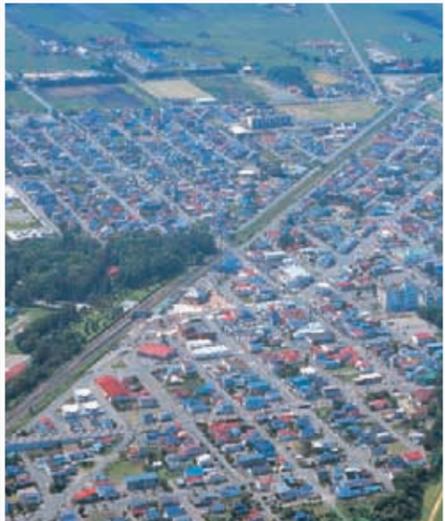
パークゴルフ発祥の地として知られる幕別町は、平成18年2月6日に忠類村と合併し、ナウマン象の化石骨が発掘された地という魅力を加え、新たな歩を踏み出しました。十勝平野の中央部に位置し、その肥沃な土壌と気候に恵まれた自然環境の中、基幹産業である農業を中心に今後も各産業がバランスよく発展する可能性と魅力に溢れるまちでもあります。

ひとの笑顔がきらきらと輝き、将来にわたり美しく豊かな、心の通うまちを目指すとともに住民と行政の協働によるまちづくりを続けるため、さらなる町勢発展にお力添えをいただければ幸いです。

忠類市街

幕別市街

札内市街



幕別町の良さを一人でも  
多くの方に知ってもらいたい。

「関係と語学関係を主な仕事としているリーさん。英語、韓国語、中国語、日本語、スペイン語も話せるそうです。最近では韓国語、中国語の翻訳をすることが多いとのこと。台湾や韓国の人たちが観光で訪れることが増えているのが要因なのかもしれません。リーさんは「自宅の近くで英語、韓国語の教室を開いて、またSOHOを通じて異業種の方々と交流会を開き情報交換をしたり、パソコンの取り扱い説明書の翻訳など大変多くの顔を持っています。」

幕別町に住んで7年、町の都市計画審議委員や社会福祉策定委員など、積極的に町づくりに参加されています。幕別町は素晴らしい自然も環境も



民間と行政が  
協力しあって  
さらに  
発展してほしい。

幕別町都市計画審議委員  
幕別町社会福祉策定委員  
語学教室経営  
アブラハム・リーさん

いつものころからか  
鳥をみていた。  
たぶん  
落ち着くん  
でしようね。

わか自然の会 代表  
越智 仁司さん



ありますが、観光施設が少ないと感じています。「マーケティングをしつかりして多くの方に来ていただき、幕別町の良さを一人でも多くの方に知ってもらいたいですね。民間と行政が協力しあつてさらに発展して欲しいと願っているリーさんです。」

自然を通して知る「鳥」  
学びたい、感じる鳥。

越智さんが十勝・幕別に足を踏み入れたのは20年前。札幌の大学で学び、働き、それから函館を経由してこの十勝平野にたどり着きました。「わか自然の会」は94年から3年間かけて行われた「町内生きもの調査」に携わったメンバーが「そのまま解散するのはもったいない」ということで発足させたサークルです。活動内容は鳥の観察会や花の

ちょっとした気遣いと  
アイデアで、  
省エネは誰でも  
カンタンにできるの。

省エネルギー普及指導員  
幕別町食生活改善協議会  
消費者協会  
町民芸術劇場 所属

池田 明子さん



幕別町の中で身近に生息している草花  
414種類を集めた本も出版しました。

観察会。また、川の観察会という珍しいものもあるそうです。会は公共事業に関連する自然保護活動・調査・環境保全などに協力しています。越智さん自身の関心はもっぱら野鳥。「なんで(鳥なん)でしようね」と笑みを浮かべていました。オホーツク出身。小児科医。

さまざまな人たちとの  
触れ合いが  
活動を支えています。

池田さんは4つのボランティア団体に所属。それらのひとつ、消費者協会では、悪質商法に騙されないための対策として寸劇を行ったりしています。平成16年には北海道で12人しか認定されなかった省エネルギー普及指導員になりました。指導員は幕別町に池田さん一人だけということもあり、年に数回の講演の依頼を受けつつ多忙な毎日をごしています。「プラグを抜いて待機電力カット」「フレジ袋」など、負担を感じることなく手軽に取り組める省エネを推奨。

「みなさんが『省エネしてるよ』って言うてくれることが嬉しいんです」。性別、年齢もさまざまな人たちとの触れ合いが、前向きでバイタリティー溢れる彼女の活動を支えています。

# MAKUBETSU VISION

助け合い、支え合い、この魅力あふれるまちを  
未来の子どもたちのために守り、発展させていきます。

## 幕別町将来構想



将来像

人と大地が躍動し  
みんなが築く  
ふれあいの郷土

### 協働と創造

ともに考えともに創る活力あるまちづくり

- 交流・連携の推進
- コミュニティ活動の推進
- 広報・広聴活動の充実
- 行政体制、財政運営の効率化 など



### 安全な食の供給

農業を核に競争力のある産業のまちづくり

- 農林水産業の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興
- 雇用の場の創出 など



### 安心と思いやり

笑顔ゆきかう健康とやすらぎのあるまちづくり

- 保険・医療・福祉サービスの向上
- 高齢者福祉等の充実
- 子育て支援体制の充実
- 介護保険事業の充実 など



### ゆとりと個性

文化の香る心豊かな学びのまちづくり

- 生涯学習の推進
- 幼児教育・学校教育の充実
- 文化・芸術活動の推進
- スポーツ・レクリエーション活動の推進 など



### 環境と生活

自然とともに生きる環境にやさしいまちづくり

- 自然環境の保全
- 道路・交通網の整備
- 快適な住環境の整備
- 防災・消防体制の充実 など



## 町の歴史

- 1882(明治15年) 細谷十太夫が止若に居住。幕別の開拓始まる。
- 1894(明治27年) 岡田新三郎が丸山南麓に単身入地。幕別の開拓始まる。
- 1897(明治30年) 幕別市街に幕別外六カ村戸長役場開庁。開基元年。
- 1900(明治33年) 晩成社の依田勉三、途別で開田。
- 1905(明治38年) 利別・普広間の鉄道開通。止若停車場が営業開始。
- 1910(明治43年) 札内市街に停車場開業。
- 1930(昭和5年) 国鉄広尾線忠類駅開業。
- 1946(昭和21年) 開基50年。町制を施行し「幕別町」となる。
- 1947(昭和22年) 新田牧場で池部長、高峰秀子主演「愛と嵐とともに」の映画ロケ撮影。
- 1949(昭和24年) 大樹村から分村して忠類村が開村。
- 1959(昭和34年) 蝦夷文化考古館完成。
- 1962(昭和37年) 忠類地区でゆり根の栽培開始。
- 1963(昭和38年) 止若駅を幕別駅と改称。
- 1966(昭和41年) 開基70年。幕別町歌、幕別音頭、町民憲章を制定。町民会館完成。
- 1969(昭和44年) 晩成の農道工事現場でナウマン象の化石骨が発見される。
- 1972(昭和47年) 現役場庁舎完成。
- 1974(昭和49年) 札内福祉センター完成。
- 1976(昭和51年) 忠類コミュニティセンター完成。
- 1978(昭和53年) 第1回「まくべつ産業まつり」を開催。
- 第1回「忠類収穫まつり」を開催。
- 1979(昭和54年) ふるさと館オープン。
- 1983(昭和58年) パークゴルフが誕生。
- 1984(昭和59年) 白銀台スキー場で第1回「自作そり滑走競技大会」を開催。
- 1985(昭和60年) まくべつ町民芸術劇場発足。
- 1987(昭和62年) 国際パークゴルフ協会結成。
- 第1回パークゴルフ国際大会を開催。国鉄広尾線廃止に伴い忠類駅営業終了。
- 1988(昭和63年) ナウマン象記念館完成。
- 1993(平成5年) ナウマン象記念館近くに「道の駅」が登録。
- 1994(平成6年) ナウマン温泉「アルコ236」がオープン。
- 1996(平成8年) 幕別町開基100年、町制施行50周年。百年記念ホール保健福祉センター、クロニクル・スパイラルビル、テニスコート完成。第1回「忠類どんとこい祭り」を開催。
- 1998(平成10年) 第1回「まくべつ夏フェスタ」を開催。
- 1999(平成11年) 忠類村開村50周年記念式典を開催。
- 2002(平成14年) 幕別町農業担い手支援センター完成。
- 2006(平成18年) 幕別町・忠類村合併。

## イベントスケジュール

### ●幕別

#### 6月上旬

幕別町畜産祭り

#### 6～7月

パークゴルフ国際大会

#### 7月上旬

札内夏まつり

#### 7月中旬

まくべつ夏フェスタ

#### 8月上旬

パークゴルフ北海道オープン

#### 10月第1日曜

まくべつ産業まつり

### ●忠類

#### 8月中旬

ちゅうるい夏まつり

#### 8月14日

忠類ふるさと盆踊り大会

#### 10月第3日曜

忠類どんとこいむら祭り

#### 2月第3日曜

忠類ナウマン全道そり大会

### パークゴルフ国際大会

各国からパークゴルフ愛好者が集まる大会で、国際交流の面からも大いに注目されています。パークゴルフが広く楽しまれていることを再確認させてくれる大会です。



### 札内夏まつり

地域の小中学生やサークルの演奏やよさこいを披露。夏のおとつれを祝います。目玉は江陵高校の行灯パレード。巨大な行灯が札内の街を照らします。



### まくべつ夏フェスタ

ビールパーティーや幕別高校の仮装ダンスパフォーマンス、抽選会など内容盛りだくさん！夏の夜空を彩る花火が鮮やかにフィナーレを飾ります。



### 忠類どんとこいむら祭り

忠類地区で行われている収穫祭。牛の丸焼きの販売をはじめ食用ユリ根やジャガイモ、ゴボウなどの地場農産物の販売が行われます。羊毛加工実演会、豆のすくい取りも楽しめます。



### 忠類ナウマン全道そり大会

ダンボール製のそりによって、スピードやパフォーマンスを競うそり大会。毎年、奇抜なそりが登場し会場を盛り上げてくれます。大人も子どもも気軽に楽しめるイベントです。



●ナウマン象記念館  
忠類白銀町383-1 ☎01558-8-2826



●農業者トレーニングセンター  
錦町98 ☎0155-54-2106



●ナウマン温泉ホテルアルコ236  
忠類白銀町384-1 ☎01558-8-3111



●ふるさと味覚工房  
新和162-128 ☎0155-57-2001



●道の駅 忠類  
忠類白銀町383-1 ☎01558-8-3236



●札内スポーツセンター  
札内暁町287 ☎0155-56-4083



●明野ヶ丘スキー場  
明野496-18 ☎0155-54-4865



●クマガラハウス(パークゴルフクラブハウス)  
本町160 ☎0155-54-2289



●白銀台スキー場  
忠類白銀町415 ☎01558-8-2024



●蝦夷文化考古館  
千住114-1 ☎0155-56-4899

## 知っておくと便利な、まくべつ施設インフォメーション。



●農業振興公社(農業担い手支援センター)  
新和162-128 ☎0155-57-2711



●幕別町役場  
本町130 ☎0155-54-2111



●町民会館  
本町144 ☎0155-54-3030



●幕別町役場 忠類総合支所  
忠類錦町439-1 ☎01558-8-2111



●図書館  
新町122-7 ☎0155-54-4488



●幕別町役場 札内支所  
札内青葉町311-3 ☎0155-56-2111



●百年記念ホール  
千住180-1 ☎0155-56-8600



●保健福祉センター  
新町122-1 ☎0155-54-3811



●老人福祉センター  
依田381-1 ☎0155-56-5445



●忠類ふれあいセンター福寿  
忠類白銀町384-10 ☎01558-8-2910



## 幕別町 プロフィール

### ●地勢など

幕別町は、西は十勝の中核都市帯広市と更別村に、北は音更町と池田町、東は豊頃町、南は大樹町に隣接しています。北に十勝川、西に札内川、中央部を猿別川、そして南に当縁川が流れ、西方に日高山脈を一望できる、平地や段丘が広がる豊かな自然に恵まれた地域です。

### ●人口・世帯数

平成18年7月末現在の人口と世帯数の合計は27,496人10,945世帯です。幕別地域は、人口、世帯数とも年々増加してきており、忠類地域についても、人口減少に歯止めがかかり、近年安定した状態が続いています。

### ●面積

十勝管内の市町村面積でみると合併前、幕別町16番目、忠類村20番目であった面積が、芽室町に次ぐ11番目の面積、478km<sup>2</sup>となりました。

### ●アクセス

#### ✈ エア・バス

東 京—とちかち帯広空港(約90分)  
名古屋—とちかち帯広空港(約120分)  
大 阪—とちかち帯広空港(約120分)

#### 🚆 JR

札 幌—JR帯広駅(約140分)  
南千歳—JR帯広駅(約110分)  
釧 路—JR帯広駅(約90分)

#### 🚗 自動車

とちかち帯広空港—幕別町(約30分)  
とちかち帯広空港—幕別町忠類市街(約25分)  
JR帯広駅—幕別町(約20分)  
JR帯広駅—幕別町忠類市街(約50分)  
札 幌—幕別町(約270分)  
釧 路—幕別町(約120分)  
幕別町市街—幕別町忠類市街(約45分)

# 日高山脈がいちばん美しく見える、幕別町。

みどりあふれる広大な大地。  
広がる畑はどこまでも、どこまでも。



**11** 樹齢百年を超えるカシワの巨木。140ヘクタールもの広大な敷地を持つ新田牧場で見ることができます。  
：新田牧場



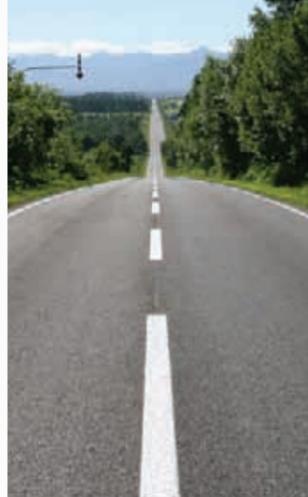
**8** ひろびろとした牧場で過ごす牛や馬の姿は必見です。展望東屋から見る景色もお見逃しなく。  
：南勢牧場



**7** 日高山脈がいちばん美しく見えるスポット。雄大な日高の山々はまさに絶景！  
：日新



**22** のんびり草をはむ牛たち。時間もゆったり流れます。頂上では忠類の市街地や日高山脈もきれいに見えます。  
：忠類共栄牧場



**13** まるで、まっすぐにのびている道が日高の山々に消えていくよう!? これは道道豊頃糠内芽室線62号の下り坂の道が、一直線に見えているのです。広大な北海道の風景を象徴するような美しさ！  
：明倫

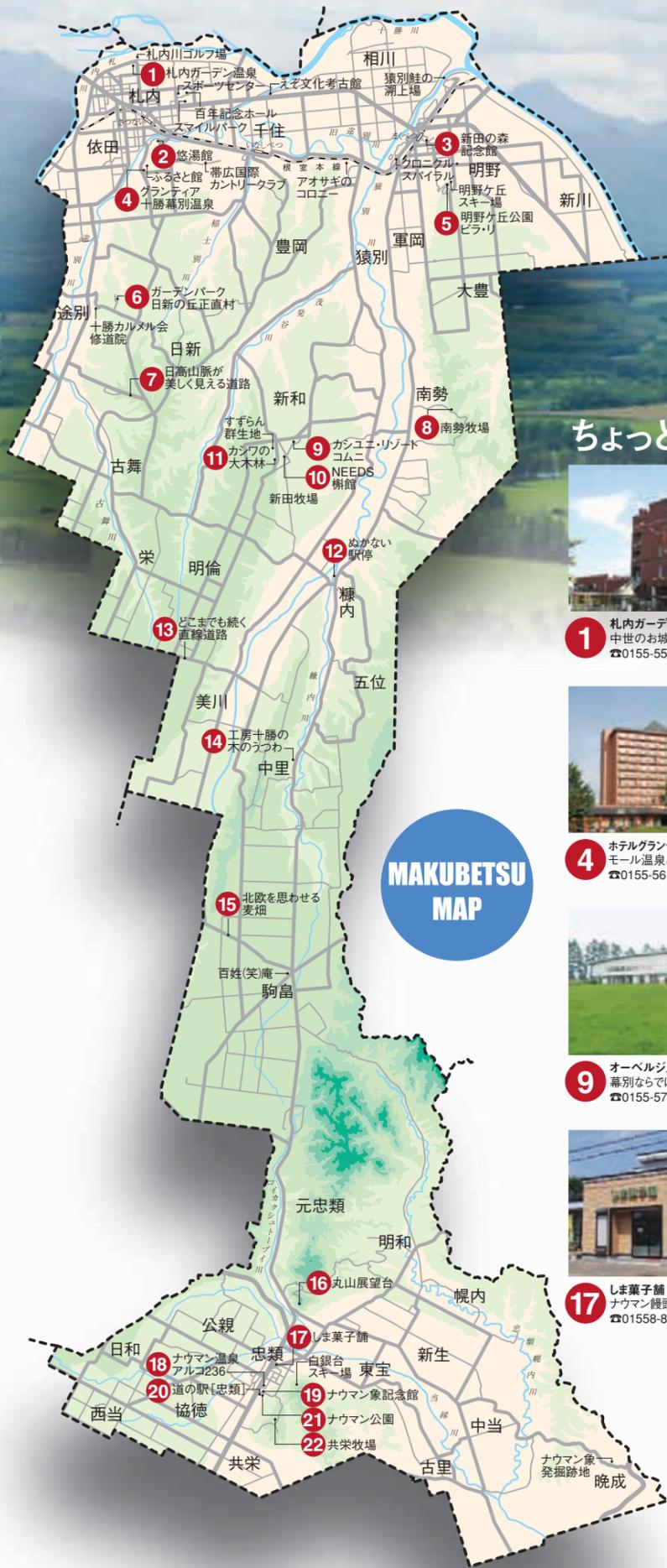


**15** まるで北欧の農村のような風景。幕別の農道を走っていると、こんなすばらしい景色に出会います。  
：駒島



**12** 幕別-忠類の中間点、「糠内」  
こんなスポットを発見。  
【駅通の跡】  
駅通（えきてい）とは、交通の発達してなかった時代の旅行者や馬の宿泊施設のことです。糠内には明治34年（1901年）に設置され、交通網の整備等から昭和4年（1929年）6月に廃止されました。現在の建物は、バス停やトイレ休憩に使われ、ちょっとした寄り道スポットになっています。

**16** 西への眺望。眼前にせまる雄大な日高山脈をお楽しみください。  
：丸山展望台



## ちょっとのぞいてみよう、寄り道スポット。

- 1** 札内ガーデン温泉  
中世のお城の天然温泉  
☎0155-55-4000
- 2** 悠湯館  
屋上露天風呂が自慢の宿  
☎0155-56-4321
- 3** 新田の森記念館  
幕別の開拓期がうかがえます  
☎0155-54-6575
- 4** ホテルグランティア十勝幕別温泉  
モール温泉と帯広の夜景を  
☎0155-56-2121
- 5** 明野ヶ丘公園 ビラリ  
幕別市街を一望「ビラリ」はアイヌ語で「偉大な崖」のこと
- 6** ガーデンパーク日新の丘  
高台一面に広がる花畑  
☎0155-56-1111
- 9** オーベルジュ コムニ  
幕別ならではのリゾートホテル  
☎0155-57-2686
- 10** NEEDS 樹館  
手づくりチーズやバターを製造  
☎0155-57-2511
- 14** 工房 十勝の木のうつわ  
中里の学校を木工工房に
- 17** しま菓子舗  
ナウマン 顔顔で知られる菓子店  
☎01558-8-2407
- 18** ナウマン温泉ホテルアルコ236  
お肌ツルツルの極上温泉  
☎01558-8-3111
- 19** ナウマン象記念館  
太古のロマンを感じてください  
☎01558-8-2626
- 20** 道の駅 忠類  
ドライブ途中の休憩に  
☎01558-8-3236
- 21** ナウマン公園  
広い公園の中にはキャンプ場も完備

# 幕別人

思わずほほ笑み返したくなる  
子どもたちの笑顔、  
温かさがにじみ出ている人々の顔は  
活気ある町の象徴。  
澄んだ空気ときれいな水。  
雄大な自然と美しい四季の移り変わり。  
そして、十勝の大地の恩恵を  
余すことなく受けて育つ農作物たち。  
「環境によって人はカタチづくられる」  
のだとしたら、  
私たちはここで生活することができて  
本当に幸せだと思うのです。



笑顔きらい幕別町

幕別町町勢要覧 2006

発行／幕別町役場 〒089-0692 北海道中川郡幕別町本町130番地 TEL0155-54-2111 FAX0155-54-3727 <http://www.town.makubetsu.lg.jp>